



双塔

カトリック新潟教会

2026 年 1 月
No. 451

カトリック新潟教会誕生 150 周年

主任司祭 田中 丈夫

主のご降誕と新年のお喜びを申し上げます。

さて、今年は、新潟の地で「再宣教」が開始され、1876(明治 9)年に最初の受洗者が誕生してから 150 年、つまり新潟教会誕生 150 周年になります。新潟教会はご誕生の聖母に捧げられた教会ですので、それに合わせて 9 月 8 日の「聖マリアの誕生」の次の日曜日に教会創立 150 周年を祝いたいと思います。

最初の受洗者と、新潟教会がご誕生の聖母に捧げられていることについて、簡単にですが、今から 49 年前の 1977 年 9 月 18 日付で発行された『“双塔”特集号(117 号)「カトリック新潟教会百年の歩み—聖堂献堂 50 周年を祝して—」を参考に、以下に説明します。

『“双塔”特集号(117 号)』の《編集後記》で、「新潟地方にカトリックの布教がおこなわれ、最初の受洗者が出てから約 100 年余たち、かつ今年の 9 月 18 日に献堂 50 周年を迎える。」と述べています。ここから、『カトリック新潟教会百年の歩み』の出発点を最初の受洗者が出た年としていることがわかります。また、昭.11.4.12 発行『双塔』第 2 巻第 6 号には「回顧の 60 年」と題した大江武雄伝道師の「1875(明治 8)年、ドルワール・ド・レゼー師が来潟。...1876(明治 9 年)4 月 15 日の御復活祭には早くも新潟教会の初穂、庄内の人、阿曾吉常に授洗せられたのであります。(p55)」という記事が掲載されていますが、この記事からも最初の受洗者が出たことが「新潟教会のはじまり」と理解していることがわかります。カトリック新潟教会の【洗礼台帳】には No1.Aso kichijo 1876.4.15 と記載されています。(「教会の誕生」については『カトリック教会の教え』p124~p125 参照)

もう一つ、確認しておきたい点は、カトリック新潟教会は明治期から「ご誕生の聖母」を保護者としているということです。以下は「座談会 献堂の往時を語る<1997.8.7>」(p110)からです。

『〈三森〉献堂式の記念写真が不思議なことに柏崎教会にあったのですよ。教皇使節のサイン入りです。それから教皇使節がこの聖堂を祝別したという証明書も発見しました。この教会は「王たるキリストの教会」といわれていますが、証明書によると、タイトルは「王たるイエズスキリストの光栄のために献げる」となっているが、「ご誕生のおとめマリアのご保護のもとにこの聖堂を祝別した」と、タイトルとご保護を区別して使っています。〈鍋谷〉この教会は明治以来パリ外国宣教会の宣教師によって布教がなされていたので、その当時のまま続けられてきたのではありませんか。〈三森〉そうですね。パリ外国宣教会の神父様達は「ご誕生の聖母の教会」としていたのですね。』(1927 年にカトリック新潟教会聖堂の献堂式を主司式した駐日教皇大使が署名した「聖堂祝別証明書」については『季刊双塔 2024 年』p8 をご参照ください。)

神の母聖マリアの祭日にあたり、150 年というカトリック新潟教会の歩みが『いつも私たちと共におられる三位一体の神「父」と「子」と「聖霊」の導きとご保護のもとにあったということの思い、感謝いたしましょう。そして『三位一体の神』への信頼のうちに、新たな歩みを始めましょう。

最後に、ミサの奉献文の叙唱(聖母マリア三 一聖母マリアの生涯)をここに掲載します。『聖なる父、全能永遠の神、聖母マリアの生涯を通して示されたあなたの恵みをたたえ、感謝をささげます。神のお告げを信じ、みことばを受け入れたおとめマリアは救い主の母となり、十字架のもとでイエスの最後のことばを受け、キリストによって新しく生まれるすべての人の母となりました。また、約束された聖霊を待つ間、使徒たちとともに祈り、祈る教会の姿を示しました。天の栄光に上げられたマリアは、旅する教会を母の愛をもって見守り、神の国の完成の日までわたしたちを導かれます。』

インフォメーション!

●信徒のみなさんへの「お知らせ」の方法について（小教区評議会）

- ①センター掲示板おしらせに掲載しています（外壁ガラス掲示板）のでご覧ください。
- ②「おしらせ」のある方は、9時半主日ミサでのお知らせと掲示板の貼り出し、月刊双塔への掲載をお願いします。（広報部アドレス：soutoul656@gmail.com）

●入門講座 主任司祭 田中神父にご相談ください。

●聖書勉強会 ※年内は12/17まで、年明けは1/14から再開。

日時 毎週水曜日 午前10時～ 会場 カトリックセンター研究室 指導 田中神父

●信仰養成講座

日時 毎月第2土曜日 午前10時～ 会場 カトリックセンター研究室 指導 町田神父

※新約・旧約聖書を使います。各自ご持参ください。

●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会：野村）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでも、ミサのみ参加も可）

今後の予定 3月9日(月) ※2026年1月、2月は、休会

時間 午前11時～ 指導 成井司教 会場 新潟教会聖堂

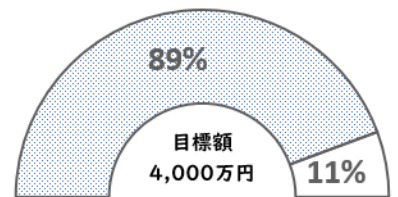
●教会維持費などの献金について（小教区評議会）

献金袋が無い方は、聖堂維持費棚の右下に袋があります。各自でご記入の上、日曜日に中央柱の維持費入に入れてください。

●聖堂修繕工事のための特別献金のこと（小教区評議会）

聖堂修繕工事のための特別献金 目標額4,000万円

★2025年12月20日現在 累計額3,548万円(進捗率：89%)
(1万円以下四捨五入)



●賀詞交歓会のご案内 1月1日11時ミサ後（小教区評議会）

お菓子とドリンク類を用意してお待ちしております。持ち寄りも大歓迎です。

神の母聖マリアの祭日を、新年の慶びと合わせてお祝いしましょう。（会場：センター1階）

●ろうそくと枝の受付箱を聖堂入口近くに設置のこと（典礼部）

- ・「主の奉献」の祝日（2月2日）にろうそくを祝別します。
希望者は名前を記入した袋または箱に入れたろうそくを聖堂内の所定の箱に入れてください。
受付期間：1月4日～2月1日
- ・昨年のお難の主日に祝別された「枝」を回収します。
お持ちの方は聖堂入口近くの所定の箱に入れてください。
回収期間：1月18日～2月15日

そよかせ便り

●12月6日、7日 待降節黙想会

6日（土）14時から待降節黙想会が鶴岡教会、酒田教会の主任司祭ネルソン神父の指導で開催された。『共に歩む希望の旅ーシノドス的に生きる待降節ー』をテーマに話され、結びに「主イエスよ教会を希望と愛で新たにしてください」と祈り、講話を閉じた。引き続きゆるしの秘跡が行われた。翌7日（日）、ネルソン神父の司式で待降節第二主日のミサが行われ、午後からは英語ミサとゆるしの秘跡、その後、同師を囲みセンター1Fで持ち寄りランチ会が開かれた。

2026 年 1 月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等、教会の行事
1 日(木)	神の母聖マリア（祭日） 世界平和の日 ・ミサ午前0時（司式：田中神父）、午前11時（司式：成井司教） ・11時ミサ後賀詞交換会（センター1階）
2 日(金)	・ミサ 10:00（初金）
4 日(日)	主の公現（祭日） ・小教区評議会（9:30 ミサ後 研究室） ・英語ミサ（12:00） ・清掃日（センター、外のトイレ：英語ミサ後） ・成人の祝福
6 日(火)	・司祭静修
10 日(土)	・信仰養成講座（10:00 研究室）※指導：町田神父
11 日(日)	主の洗礼（祝日） ・総務部会（9:30 ミサ後 研究室）・馬小屋、イルミネーションの片付け
18 日(日)	年間第2主日 キリシト教一致祈祷週間（～25 日） ・清掃日（聖堂、外のトイレ、センター：9:30 ミサ後） ・ベトナム語ミサ（12:00） ・国際協力部会（清掃後 研究室） ・広報部会（清掃後 事務室） ・キリシト教一致祈祷週間 中心集会（午後2時、寺尾教会）
25 日(日)	年間第3主日 世界こども助け合いの日（献金） ・教会維持費の整理（9:30 ミサ後 事務室） ・新潟カテドラル記念事業実行委員会（9:30 ミサ後 研究室）

※ ミサ時間

日曜日（7:00、9:30） 英語ミサ（第1日曜 12:00） ベトナム語ミサ（第3日曜 12:00）
火曜～木曜、土曜（7:00） 金曜（10:00）

★朝ミサ 7:00 は休止になることもあります。ご確認の上ご参加ください。

※ 聖堂開堂時間

毎日 9:00～18:00（都合により左記時間が変更となる場合がございます）

